モンゴル遊牧民映画「プージェー」

来月20日上映会 高知市

山田監督（須崎市出身）トークイベントも

須崎市出身の映画監督、山田和也さん＝東京都新宿区在住＝がモンゴル遊牧民の家族を描いたドキュメンタリー映画「プージェー」が来月二十日、高知市九反田の市文化プラザ「かるぽーと」で上映される。

プージェーは遊牧民の六歳の少女。山田さんがディレクターを務め、医師で冒険家の関野吉晴さんが三大陸を踏破するテレビ番組「グレートジャーニー」の撮影中に偶然出会った。

映画では、プージェーの家族と関野さんの五年間の交流を描いている。平成十八年の公開以降、各地で上映。海外でも評価が高く、昨年は韓国の映画祭「インターナショナル・ドキュメンタリー・フェスティバル」でグランプリを受賞。今年一月には優れた自主制作映画が集まることで知られる米国の「サンダンス映画祭」に公式ノミネートされた。

本県での上映は昨年六月の須崎市以来。山田さんは「映画を通して強い自我を持ったかわいい少女に出会い、モンゴルで起こっていることを知ってほしい」と話している。

また、山田さんが関野さんの新たな旅を追った「グレートジャーニースペシャル」も今月二十一日に高知さんさんテレビで放送される。

プージェーの上映は吹き替え版が午前十時、字幕版が午後一時から。関野さんも来高し、字幕版上映後に山田さんとトークイベントを開く。チケットは前売り一千円、当日一千三百円。問い合わせはプージェー制作委員会（03・5386・6700）。

山田和也監督

3/21

遊牧民の英知が地球救う

映画「プージェー」山田監督（須崎市出身）に聞く

20日・高知市で上映会とトーク

モンゴル遊牧民の家族を追ったドキュメンタリー映画「プージェー」の山田和也監督＝須崎市出身、東京都新宿区在住＝が、二十日に高知市で開く上映会とトークイベントの事前PRのため、このほど来高した。自然に寄り添う遊牧民の暮らしに「地球を守る英知がある」と強調する山田監督。「高知は、賢く自然とつき合う文化の残る、数少ない土地」とも語る。世界を旅する中で見つけた、未来へのヒントを聞いた。（松井久美）

テレビディレクターも務める山田監督は平成十一年から、冒険家の関野吉晴さんが三大陸を踏破するテレビ番組「グレートジャーニー」の撮影に同行。映画「プージェー」はその際に出会った遊牧民の少女プージェー一家と関野さんの五年間の交流を描いた。

撮影の過程で、プージェー一家ほか数々の遊牧民と触れ合ううち、山田監督は彼らが代々培ってきた知恵に驚かされたという。

山田監督によると、遊牧民はラクダや馬、羊、ヤギ、牛といった多様な家畜を飼う。

「羊やヤギだけを飼うと、草を根こそぎ食べきっちゃう。すると草原はすぐに駄目になって、乾燥して砂漠になっていく」と前置き。「でも家畜の種類が多ければ、食べる草の種類や部位が違う。少しずつ場所を移動し、一年たって戻ったら、元の草原は青々と茂っている。草原の維持につながるんです」

極東シベリアの遊牧民を取材した際は、薬草を採りに夏のツンドラに出掛けたおばあさんの姿に感銘を受けた。

「シベリアというと凍土のイメージが強いですけど、夏は見渡す限りの草原です。ある時、おなかが痛いときの薬を、採りに行くことになった。おばあさんは地図もないのに、真っすぐ、迷わず歩いていく。それで目当ての薬草を少しだけ採る。根は残し、葉に少しついた細かな土さえも、丁寧に落として戻す。自然への敬いを持ち、恵みを少しだけもらうという観念が根底に流れているんです」

「彼らの頭の中には自然の恵みの地図ができていて、山川の幸を採りに行くのは、まるで私たちが冷蔵庫からトマトを取り出すかのよう。でも、彼らは頭の中にある地図を壊さないよう、決して乱獲はしない」

山田監督は「彼らは文明から遅れているのではなく、何万年もの間に培ってきた自然との付き合い方を大切にしている」と語る。その英知に学んだ結果、自然に手を入れる農業ではなく、自然と密接にかかわる「採集狩猟生活」が地球を救うと考えるようになった。日本でいうなら、縄文時代。だが、そこまで回帰しなくても、高知の朝市にヒントがあるという。

「ぼくのふるさとの須崎には、毎週二回の朝市が残っていて、山や海の自然の幸が数多い。そこで旬を知り、名前の知らないような魚や果実の食べ方を、市の人が教えてくれる。これは文化です。スーパーやコンビニはそこまでやってくれない。こんな文化の残る土地は、もう少なくなっている」

「コンビニのお弁当を見ると、世界中の食材を使ってできている。ぼくはエコロジストじゃないけど、ものすごくCO_2を使ってるなあと思う。その土地の旬のものをいただくという、朝市的な地産地消の暮らしを広げていくことが、地球を守る道の入り口じゃないでしょうか」

◇

映画「プージェー」の上映会は二十日、高知市の市文化プラザ「かるぽーと」で。午前十時から吹き替え版上映。終了後、山田監督のトークがある。午後一時からは字幕版を上映し、その後で関野さんも交えた座談会を行う。前売り一千円、当日一千三百円。前売り券は高新プレイガイドほかで販売中。

来高した山田和也監督（高知新聞社）

映画「プージェー」の1場面。右から2人目がプージェー